

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 薬務課

担当名: 総務・温泉・薬事相談担当

内線: 3624

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B44	薬局のかかりつけ機能強化推進事業		一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	医薬分業支援事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			宣言項目		
					分野施策	010204 生涯を通じた健康の確保		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>平成27年10月に策定された「患者のための薬局ビジョン」の実現を目指し、地域包括ケアシステムを支える機関の一つである薬局のかかりつけ機能の強化を図る必要がある。</p> <p>そこで、認知症対応薬局の推進、ポリファーマシー（多剤併用にとまなう薬物有害事象）対策の推進等の事業を実施する。</p> <p>(1) 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 △1,926千円</p> <p>国からの交付額が減額となったことによる減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>薬局のかかりつけ機能強化推進事業 2,974千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 認知症対応薬局の推進 埼玉県（地域包括ケア課）及びさいたま市からの委託を含めて（一社）埼玉県薬剤師会が実施する薬剤師認知症対応力向上研修会を県内4地区で行う。 また、地域ケア会議等の機会をとらえて多職種と顔の見える関係を築く。</p> <p>イ ポリファーマシー対策の推進 引き続きモデル事業を実施するとともに、平成30年度のモデル事業の結果を踏まえ全県展開の事業スキームを構築する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア かかりつけ医や多職種との連携体制整備によるかかりつけ薬剤師・薬局の機能の強化</p> <p>イ 患者の服用する薬の種類や残薬の減少、アドヒアランスの向上 ⇒患者の副作用の軽減、患者と保険者の経済的負担の軽減 ⇒患者本位の安全な薬物療法の確保、医療費の適正化</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>国からの交付額が減額となったことによる減</p>					
2 事業主体及び負担区分								
(1) (国10/10)								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×1.4人=13,300千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△1,926	国庫支出金	△1,926				0	2,974
現計額	4,900		4,900				0	